

2 目標達成計画

事業所名 : グループホーム大山田いこいの里

作成日 : 平成 31年1月26日

評価結果

市町提出日 : 平成 31年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員による避難訓練は定期的に行っているが、今後は消防署員による指導を受け、食料などの備蓄を整える必要がある。	消防署や地域との連携を進め、備品をそろえて災害に備える。	消防署との連携による訓練を実施する。また備蓄品のリストアップによる適切な管理を行い災害に備える。	12 か月
2	54	ご利用者全員が認知症の為、妄想によるトラブルや転倒などの事故防止を目的に物を少なくしている。その結果個性の感じられない居室になっている。	その人らしくつるげる空間を作る。	家具や小物を置けないレベルのご利用者には壁面を利用するなどし、ご家族と相談しながら安全な方法で個性や季節感のある空間づくりを進める。	12 か月
3	36 37	声かけが指示的・指導的になりやすい。ご利用者個々に合った個別援助を充実させる必要がある。	ご利用者それぞれのペースで、穏やかで充実した日々を送っていただく。	認知症対応の研修や勉強会の実施。及び個々のアセスメントの理解を深め生活歴をふまえた対応ができるようにしていく。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。